

社会・環境報告書 2007

Social & Environmental Report



TONAMI
Transportation Co.,Ltd.

Contents

- 2 | トップメッセージ
- 3 | 基本方針
 - ・トナミ運輸経営理念『和の経営』
 - ・第17次中期経営計画
- 5 | 事業活動と社会・環境とのつながり
- 7 | コーポレートガバナンス
 - 7 | コーポレートガバナンス体制
- 9 | 社会とのつながり
 - 9 | 交通安全への取り組み
 - 11 | 地域・社会への取り組み
 - 13 | お客様とのコミュニケーション
 - 15 | 従業員とのコミュニケーション
- 17 | 環境とのつながり
 - 17 | 環境への責任
 - 19 | 地球温暖化防止・大気汚染防止のために
 - 21 | 環境と安全への取り組み
 - 23 | 廃棄物削減への取り組み
 - 25 | 環境物流
- 26 | 事業報告

編集方針

この報告書は2006年度にトナミ運輸が行った社会活動や環境保全への取り組みを紹介しています。構成にあたっては環境省「環境報告書ガイドライン2003」を参考にしています。

対象期間

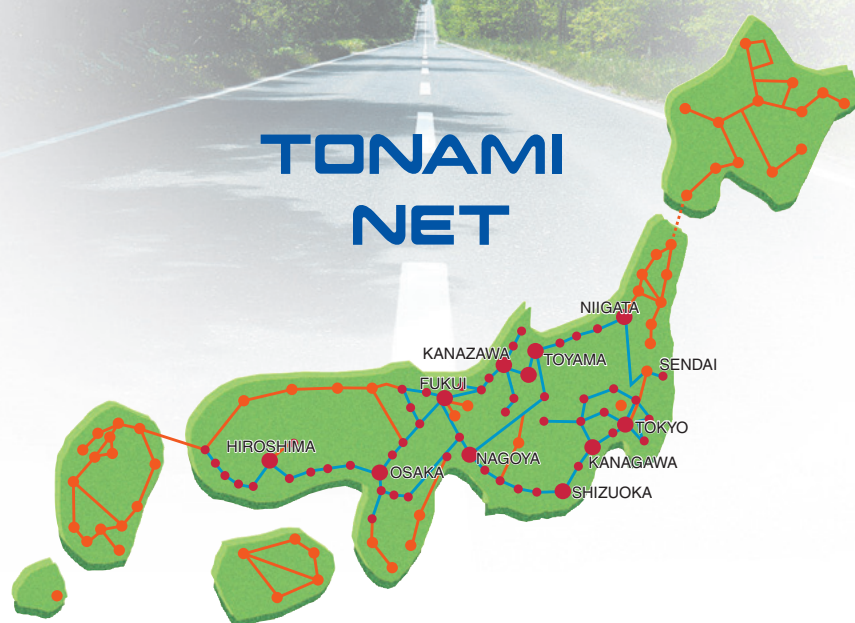
2006年4月1日～2007年3月31日
(一部これ以前もしくは直近の活動を含みます)

対象範囲

トナミ運輸全社を対象としました。
「コーポレートガバナンス」の一部記事は、トナミ運輸グループを対象としています。

会社概要 (2007年3月31日現在)

商号	トナミ運輸株式会社
設立	昭和18年6月1日
資本金	141億8千2百万円
本社	富山県高岡市昭和町3丁目2番12号 〒933-8566
営業種目	貨物自動車運送事業、 貨物利用運送事業、倉庫業、 自動車修理業、損害保険代理業、 物品販売業 他
営業店舗数	営業所81カ所、 流通センター48カ所など
従業員数	5,139名
保有車両台数	5,534台





ごあいさつ

トナミ運輸株式会社
代表取締役社長

綿貫 勝介

「和」の経営理念を実践し、経営基本方針に基づいて 「企業の社会的責任(CSR)」を果たしていくことが重要と考えます。

近年、CSR(企業の社会的責任)がより一層求められる社会環境が定着しつつありますが、当社は、『輸送を通じ社会に寄与し事業の発展をはかる』を経営基本方針として、事業の推進を図ってまいりました。

当社の社会的責任は、「輸送の安全を確保すること」、「地球環境に配慮すること」、「法令やルールを守ること」、「人権を尊重すること」、「地域社会に貢献すること」が不可欠なことであり、物流のエキスパートとして、実践しなければならないことと考えております。

昨今、二酸化炭素の排出による地球温暖化への影響といわれる現象も報告されており、一層深刻な状態が進行していると考えられ、エネルギー利用の一層の効率化を図ることが極めて喫緊な課題と認識いたします。

当社は、物流の効率化、低公害車の導入、モーダルシフト、エコドライブ活動等を通じ、従業員全員が参加してエネルギーロスを生まない事業活動を実施してまいりました。

また、環境事業部が中心となり、「社会・環境」というテーマで、資源の地域完結型リサイクルを推進する「エコロックシステム」や「広域認定制度」などにより、効率

のよい広域的なリサイクル活動を行うことによって、循環型社会作りに寄与するよう努めております。引き続き、ゼロエミッションを目指し最適のリサイクルルートを提案する環境物流の展開を推進してまいります。

今後においても、企業の成長と環境保全は車の両輪であり、次世代を担うために、「使命感をもって責任ある活動」として対応しなければならないテーマであると思っています。

継続的かつ持続可能な活動によって企業価値を一層高め、ステークホルダーに対して社会的な責任を果たしてまいりたいと思います。

なお、当社はいかなる事業環境にあろうとも、企業としての健康体を維持し続けるために、適正な利益を確保することを事業運営の基本としており、今後とも健全な企業運営によって、企業価値向上を図るよう努めてまいります。

社会・環境報告書を発行して4年目となりますが、皆様との貴重なコミュニケーションを大切にし、忌憚のないご意見をいただくことによって、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

トナミ運輸経営理念『和の経営』

相手が何に困っているか、何を求めているか、そして我々は何をすれば相手を高めることができるか。相手の願い、要望、気持ちを考え、知ることから和の精神の発揮が始まります。お客様に対しては、これを物流を通じて実現し、従業員には教育を通じて実現します。これが和の経営理念です。

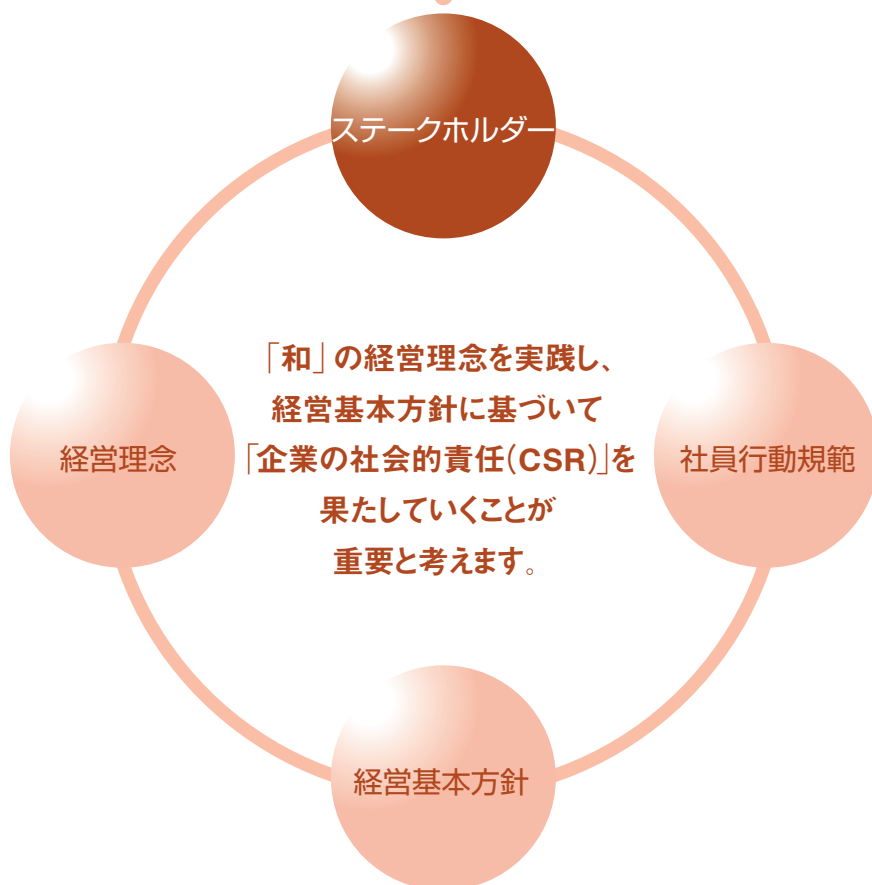
経営基本方針

『トナミ運輸は輸送を通じ社会に
寄与し事業の発展をはかる』

1. 荷主により早くより確実なサービスを
1. 社内に相互信頼の気風と規律を
1. 従業員に公正な配分と文化的な生活を
1. 株主に適正で安定した配当を

社員行動規範

- お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- 公正な企業活動を行います。
- 整理・整頓に心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- コンピュータ・ネットワークの不正な利用・業務目的以外の使用をしません。

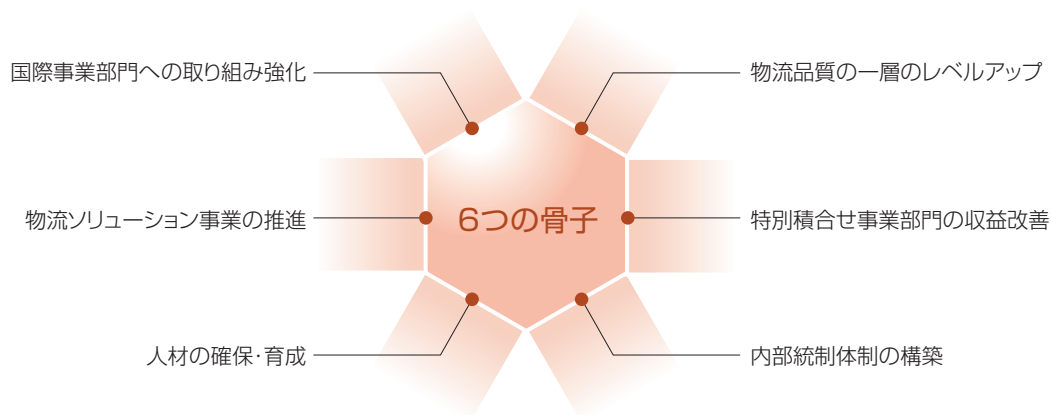


第17次中期経営計画 (計画期間:2005年4月～2008年3月)

基本スローガン

新たな価値創造企業
集団を目指して
～企業革新への挑戦～

激変する経営環境下にあって、お客様にも社会にも信頼・評価され、従業員が誇りと満足を持って働ける会社として成長していくために、従業員一人ひとりが、それぞれの立場で責任を果たし、物流事業における更なる価値創造と社会的責任(CSR)を果たす経営を推進することで、競争力と社会的な存在価値を高め、事業の発展を図る。



社会・環境とのつながりを大切にしながら、日々の事業活動に取り組んでいます。事業活動における資源やエネルギー使用量（INPUT）やどのような環境負荷が発生しているか（OUTPUT）を把握し、この結果をもとに見直しを図り、環境負荷低減に取り組んでいます。

電 気	25,792,795kwh
灯 油	118.4kl
都 市 ガ ス	39,377m³
上 水 道	217,600m³
A 重 油	100.7kl
L P G	91,744m³
(湯 沸 し)	
コピー用紙	1,493,000枚
(本 社 の み)	
梱 包 材	759,326kg
(段 ボール)	

軽油	42,974kl
ガソリン	677kl
C N G	582,000m ³
L P G	175,600m ³
(リフト)	
タイヤ	16,191本
車両台数	5,534台





OUTPUT

トナミ運輸
環境活動

大気へ

CO₂…128,841t-CO₂ 低公害車の導入 **P20**
 NO_x……………1,010t モーダルシフトの推進
 P M……………83t エコドライブの推進 **P21**

廃棄物

可燃ゴミ **ゴミ減量化推進 P23**
 ・発生量…1,785,279kg の取り組み
 ・再資源化率 ……37.7%

不燃ゴミ
 ・発生量…1,722,541kg 廃棄ストレッチフィルムの **P24**
 ・再資源化率 ……59.0% リサイクル

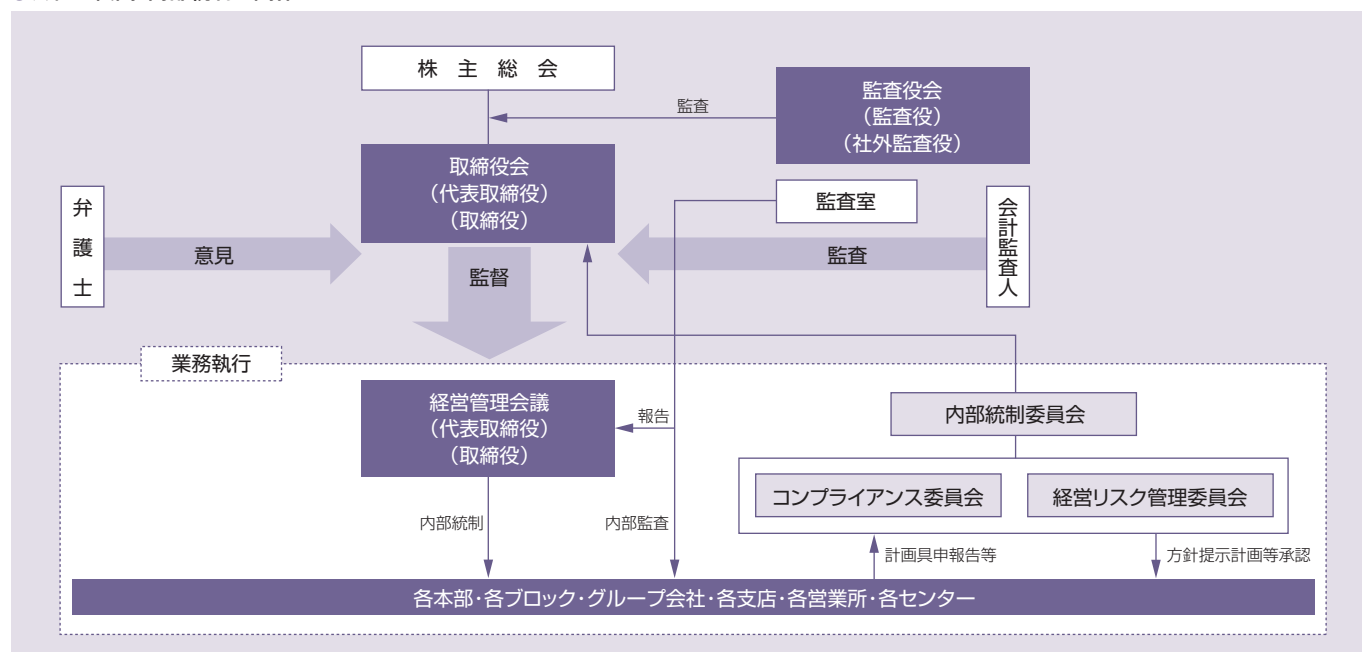
廃タイヤなど

廃タイヤ ……16,191本 廃タイヤのリサイクル **P24**
 (メーカー)
 廃油 エンジンオイルの
 廃油リサイクル

トナミ運輸グループは、社会・ステークホルダーから信頼される企業としての体制を整備し、事業の更なる価値創造を目指します。

健全な内部統制システムの構築を図り、企業グループの価値を高めるよう取り組んでおります。

なお、グループ会社の経営管理会議における本社承認・報告事項を経営管理会議規則に定めるとともに、子会社管理規程に従い子会社経営の管理を行っております。





内部統制システムの整備の状況

当社の内部統制システムの構築に当たっては、トナミ運輸グループの経営リスクマネジメントに関する基本方針を定め、当社の事業運営に影響を及ぼすおそれのある様々なリスクへの適切な対応を行い、経営基盤の安定化を図るとともに、万一、経営リスクが発生した場合の影響を極小化し、当社の損失および社会的損失をできる限り発生させないよう取り組んでおります。

さらに、コンプライアンスの重要性を認識し、コンプライアンス委員会を設置し、「トナミ運輸グループ社員行動規範」に基づき、トナミ運輸グループ企業の役員社員に、企業倫理と法令遵守を浸透させるため推進担当者を選任し、コンプライアンスに関わる教育や説明会を実施しております。

また、企業活動において、あらかじめ違反行為が起これる可能性を抽出し、未然防止を図るよう、推進状況を報告させ、違反行為が発生した場合は、早期に解決し、再発防止策を講じるコンプライアンス体制の構築に努めております。

なお、経営の監督機能と業務執行を分離し権限と責任を明確にするため、執行役員制度を採用し、執行役員は業務執行に関する重要な事項を審議する機関である経営管理会議に出席し、取締役会が決定した基本方針に基づき、速やかな業務執行に努めており、経営に関する法令遵守事項等については、必要に応じて、公認会計士や弁護士等の専門家から助言を受け参考としております。

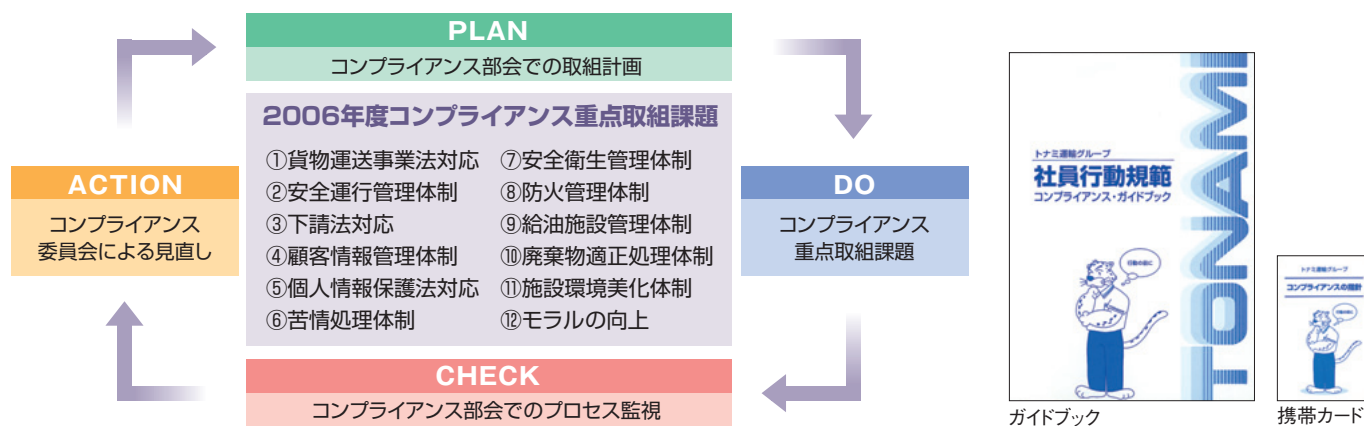
そして、経営管理会議をはじめとする重要な会議には必要に応じ、部長職、ブロック長、グループ会社取締役等を出席させ、経営環境の変化に速やかに対応する体制を整え、経営の健全化に努めております。

また、業務執行が適切で効率よく行われているかについては、監査室による内部監査を実施し、経営管理会議および監査役に報告を行っております。

コンプライアンス体制の整備

トナミ運輸グループでは、コンプライアンス体制の基礎として、「トナミ運輸グループ社員行動規範」を定めています。コンプライアンスの統括組織としてトナミ運輸本社にコンプライアンス委

員会、トナミ運輸およびグループ全社にコンプライアンス部会を設置し、コンプライアンス体制維持の取り組みを行っています。



リスク管理体制の整備

「トナミ運輸グループ経営リスクマネジメント管理規程」に基づき、業務執行に係るリスクを認識し、その把握と管理、またトナ

ミ運輸各本部およびグループ会社リスク管理責任者を置き、体制を整備しています。

経営リスクマネジメント方針

トナミ運輸グループは、自然災害、事故など人為的災害、及び経営上の様々なリスクに的確に対処し、経営目標の達成を阻害するすべての要因を可能な限り防止し、排除することにより、社会的責任を果たす。

経営リスクマネジメント行動指針

- ・トナミ運輸グループの役員、社員及び会社業務に従事するすべての者の安全及び健康ならびに、グループ組織の経営資源の保全を図る。
- ・経営資源に被害が生じた場合は、適切かつ迅速な復旧を図る。
- ・ステークホルダーの安全、健康及び利益を損なわないよう行動する。
- ・リスク顕在化の際には、責任ある行動をとる。
- ・リスクに関連する社会的要請を組織のリスクマネジメントに反映する。
- ・不断のリスクマネジメント活動を通じて、会社の社会的評価を高める。



交通安全への取り組み

当社は、公道を利用し事業を営んでいる企業として、交通安全を重要なテーマとして捉えています。交通事故防止の取り組みを推進し、安全な社会づくりに貢献していきたいと考えます。

安全管理体制

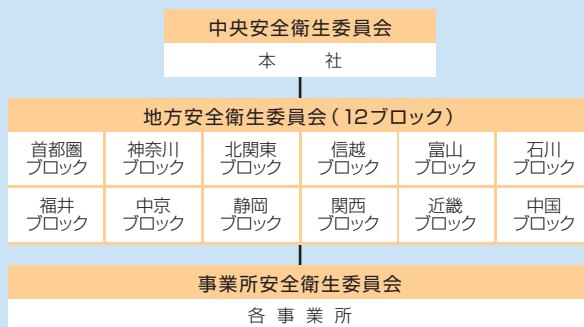
本社に中央事故防止安全衛生推進委員会を、全国12ブロックに地方事故防止安全衛生推進委員会を設置して、交通事故防止や労働災害防止など、さまざまな課題に対して討議を行いながら取り組みを推進しています。

□「安全管理規程」に関するホームページはこちらから

当社は総合物流企業として社会に寄与し、常に安全、確実、迅速なサービスを提供し、顧客ニーズに対応しています。

<http://www.tonami.co.jp/policy/pdf/anzenkanrikitei.pdf>

●事故防止安全衛生推進委員会体制



安全運転指導

交通安全確保のために、飲酒運転撲滅をはじめさまざまな安全運転指導を行っています。また、労働組合との連携による交通事故撲滅運動『安全運転公開指導』を毎年夏と冬の年2回実施しています。

アルコール検知器での検査実施

飲酒運転防止を徹底するため、全事業所で、出発前点呼時にアルコール検知器での検査を実施しています。



アルコール検知器検査

KYT（危険予知訓練）の実践

乗務員の出発前点呼時に、KYT（危険予知訓練）を実施しています。まず、各自で、KYT4ラウンド方式（1R:どんな危険が潜んでいるか 2R:危険要因の掘り下げ 3R:危険ポイントへの対策 4R:実施目標の設定）を設定し、さらに、グループミーティングを行い、意見を出し合うことで各自の知識の範囲を広げていきます。

また、出発前には指差呼称の発声を行い、日々、確認を繰り返しています。



KYT（危険予知訓練）

タイヤ脱落事故防止へ、点検強化

『自動車点検基準』が2007年4月1日改正となり、大型車の日常点検、定期点検において、ホイール・ボルト関係の点検が義務づけられました。

当社では、大型に限らず全ての車両でホイール・ナット・ボルトの点検を日常点検項目としました。



タイヤ点検

若年ドライバー実車教育

乗務員教育の一つとして、乗務経験の浅い若年ドライバーを対象に実車教育を行っています。



実車訓練

〈事業所長の感想〉

実車訓練は、各自の認識の違いも分かって非常に良いと思います。道路状況は、その都度変わり、危険ポイントでは若年ドライバーの良い訓練となり、今後も充実させていきます。

〈受講者の感想〉

制動距離での自分の目測の甘さ、また、実走行での注意点を再度認識できました。目やミラーでの錯覚による事故防止を図るために、目視による確認および、十分な車間距離の確保に努めます。



あんぜん号による運転適性診断

あんぜん号は、自動車運転の適正検査機器を備えた運転適性診断車です。動体視力検査、夜間視力検査、速度見越検査など8項目の検査機器を搭載しており、コンピュータで安全運転のポイント診断ができます。乗務員に対して定期的に適性検査を実施すると同時に、ご要望のある企業・学校へ出向き、適性診断・指導を実施しています。

高校生交通安全エンジョイスクール

社会へと巣立つ高校3年生を対象に、「あんぜん号」による運転適性診断と交通事故防止指導を実施しています。

2006年度は10校を巡回し、約250名に「社会人としての交通安全の大切さ」を学んでいただきました。

ターミナルフェスタでの交通安全教室

葛西トラックターミナルにて東京都運輸労連による近隣住民との交流および地域貢献を目的とした「ターミナルフェスタ」が開催されました。当社労働組合は、安全部と協力し、あんぜん号による運転適正診断の他、大型トラックの助手席に乗ってもらいターミナル構内を一周する乗車体験にも多くの方に参加していただきました。



あんぜん号



高校生交通安全エンジョイスクール



ターミナルフェスタ

ハイウェイレディへ参加

富山県警高速隊と高速道路交通安全協議会の委託を受けて、当社従業員がハイウェイレディとして、全国交通安全運動期間中などに県内のインターチェンジやサービスエリアで交通安全啓発活動を行っています。

コメント

ハイウェイレディの決意

ハイウェイレディとして、私自身が事故を起こしてはいけないというプレッシャーもありますが、安全運転に対しての意識が高まり、とても良い経験をさせていただいています。1件でも事故が少なくなるように頑張りたいと思います。



ハイウェイレディ

家族交通安全ポスター

事故防止の取り組みとして、従業員の家族を対象に交通安全に関するポスターを募集しています。皆様のご協力により多数の応募をいただきました。優秀作品は、各職場に掲示し、家族の願いを心に刻み事故防止に取り組んでいます。



優秀賞



優秀賞



優秀賞

活動事例

「事業所内安全教育」の実施

事業所内安全教育の一環として、救命救急訓練を実施しています。この訓練は、急病人やけが人を救助し、医師や救急隊員に渡すまでの救命手当および応急手当訓練です。現場に密着した教育により緊急事態対応と従業員のレベルアップを図っています。



救命救急訓練

TOPICS

連続無事故表彰

無事故の記録は、本人の事故防止に対する強い自覚と不断の実践の賜物であり、その努力と家族の方の協力は絶賛に値するものです。当社では、乗務職連続無事故者には表彰をしています。

〈受賞者コメント〉 社内ルール、事業所規則を守れば無事故は達成できると思います。運転時に心掛けていることは、スピードを控えめにし、交差点内は常に人・車が出てくることを想定して運転しています。



新潟支店
吉田 政夫運転手



地域・社会への取り組み

安心できる社会の実現を目指し、当社ができる役割を考え、果たしていきます。また、企業市民として、地域の皆様とのコミュニケーションを積極的に図っていきたくと考えます。

災害に備えて…高岡市総合防災訓練に参加

2006年9月2日、富山県高岡市で総合防災訓練が行われ、当社は「緊急物資」の搬送訓練に参加しました。この訓練は高岡市地域防災計画に基づき、住民、高岡市、関係機関が参加し、実践的な訓練を実施することにより、防災に関する知識、技術の取得、心構え、意識の高揚を図ることを目的として行われました。

能登半島地震救援物資の輸送協力

2007年3月27日、敦賀営業所は敦賀市役所からの依頼を受け、3月25日発生した能登半島地震で大きな被害を受けた石川県志賀町へ救援物資を輸送しました。

午前10時から敦賀市役所正面玄関で出発式が行われ、ミネラルウォーター1ℓ入りペットボトル1,500本、ブルーシート1,060枚を積み、3名の市職員とともに志賀町に向けて出発しました。



高岡市総合防災訓練



救援物資の輸送協力

福祉支援活動 ～財団法人トナミ松寿会～

財団法人トナミ松寿会は、平成6年、当社の創立50周年記念事業の一環として、社会福祉施設などへの助成活動を目的に設立された団体です。老人福祉や青少年の健全育成に対する助成や富山県内の社会福祉関係団体等への助成などを行っています。

2006年12月12日、富山県内の福祉施設3団体に送迎用車両の贈呈式が行われました。今回までの車両の寄贈は44台（44施設）となりました。



車両贈呈式



寄贈車両

地域スポーツ活動

富山県は、バドミントンが盛んな県です。平成2年に実業団バドミントン部を創部して以来、多くの舞台で活躍しています。選手は、地域の皆様の応援を受け強化に励んでいます。

バドミントン教室の開催

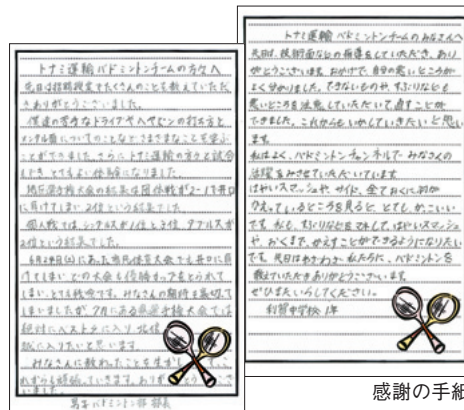
「地域に愛されるチーム」をモットーに、ジュニア層、地域選手の強化のためにバドミントン教室を開催しています。また、全国の市町村へ出向き、バドミントン講習会を開催しています。

トナミ運輸杯高岡市ジュニアオープンバドミントン大会

高岡市バドミントン協会と共催し、ジュニア層（小学生・中学生）の育成強化を目的に毎年開催しています。



富山県南砺市立利賀中学校でのバドミントン講習会では、受講された方々から感謝の手紙をいただきました。利賀中学校へは、これまで2回訪問しています。



感謝の手紙

TOPICS

国民体育大会功労者表彰を受賞

2006年9月、バドミントン部の今泉勉監督が、日本体育協会より「国民体育大会功労者表彰」を受賞しました。この表彰は、永年国民体育大会の発展に貢献した方々に贈られるものです。また、11月には、今泉監督と舩田圭太選手が富山県功労者表彰を受賞しました。



国民体育大会功労者表彰

トマス杯、アジア競技大会に出場!!

2006年4月に開催されたトマス杯（世界国別対抗戦）に、バドミントン部の舩田圭太選手と大東忠司選手が日本代表として出場し、日本チームは5位入賞を果たしました。また、12月には、アジア競技大会に出場し、男子団体・男子ダブルスで5位入賞と健闘しました。



トマス杯



各地での社会貢献活動

アダプト・プログラムへの取り組み **本社**

本社では、2004年3月から本社所在地の高岡市と「アダプト・プログラム」に基づく環境美化協定を締結し、その活動として本社周辺道路の清掃活動を行っています。

2006年度は12回実施、3年間で37回実施延べ750人が参加し、継続して取り組んでいます。



アダプト・プログラム

グリーンプロシートの販売 **物品販売事業部**

物品販売事業部では環境に配慮した商品販売に取り組んでいます。農作物、果樹、樹木を病害虫から守るグリーンプロシートは、マイナスイオン効果と遠赤外線効果が根から吸収される養分の吸い上げを補助し、葉の成長を促進します。それにより葉の光合成が強力になるため、植物の病害虫に対する抵抗力がつけます。光合成が多くなると二酸化炭素をたくさん吸収し、地球温暖化防止対策につながります。また、果実などは病害虫の被害が少なく済み、農薬の使用回数も減少するため人間の体にも良い効果をもたらします。実際に、近隣公園の桜の木などに取り付けられています。



高岡市役所前道路



グリーンプロシート

「とやまエコライフ・アクト10宣言」 **環境対策室**

富山県で展開している「とやまエコライフ・アクト10宣言」に、本社、情報システム事業部、労働組合などから、従業員約300人以上が署名をしました。

※とやまエコライフ・アクト10宣言

富山県は、雄大で美しい自然、豊かな森、そして清らかな水に恵まれた県です。この素晴らしい環境を守るため、県民が日常生活でできることを宣言し、取り組みを進めていくものです。

「こども110番の車」に参加 **神奈川ブロック**

「こども110番の車」活動に協力参加しています。2006年6月22日に行われた覚書調印式と出発式に出席し、神奈川県知事よりトラックにステッカーを貼ってもらい、激励を受けました。

当社は、200台のトラックが参加、ドライバーが助けを求める子供を見つけた場合は保護し、不審者を見た場合は警察に通報することになっています。



こども110番車

「上田わっしょい」参加 **上田営業所**

事業所所在地である上田市のお祭り「上田わっしょい」に参加しています。2006年7月29日に開催され、近隣住民の方々やお客様のご理解とご協力をいただき、本年度で12年目になりました。参加者は、昨今の不況情勢などのモヤモヤをこの一大イベントで吹き飛ばしました。



上田わっしょい

不法投棄廃棄物の撤去作業 **環境事業部・富山ブロック**

2006年10月11日、富山県産業廃棄物協会の主催による不法投棄廃棄物の撤去作業が行われ、当社から環境事業部と富山ブロックが参加しました。富山県氷見市の林道脇を担当し、捨てられた量などを撤去しました。



不法投棄廃棄物撤去作業

高校生へ「物的流通」講義 **経営企画室**

2006年11月2日・9日の2日間、富山県立高岡商業高等学校の「専門技術者等特別講師招聘事業」の講師に招かれ、「物的流通」の議題で講義を行いました。「物流とは…」に始まる基礎知識からロジスティクス、3PL、SCMなど専門的分野、また物流と環境問題について説明しました。



講師に招かれ「物的流通」を講義

高校生が就業体験 **情報システム事業部**

2007年3月2日から6日の4日間、地元高校生を対象に当社のコンピュータセンターで「就業体験学習」を実施しました。通販商品の受注入力や中央支店での出荷作業、ホストコンピュータのオペレーションなどの体験を通して運輸業におけるコンピュータシステムの関わりを理解してもらいました。



高校生就業体験

能登半島地震 災害義援金募金運動 **全社**

2007年3月25日に石川県能登半島沖で発生した地震は、石川県能登地方を中心に大きな被害をもたらしました。

被害を受けられた方々に対して少しでも力になれたらと思い、義援金募金運動を展開しました。たくさんのご理解とご協力の結果、845,532円が集まり、関係機関を通して寄付されました。



お客様とのコミュニケーション

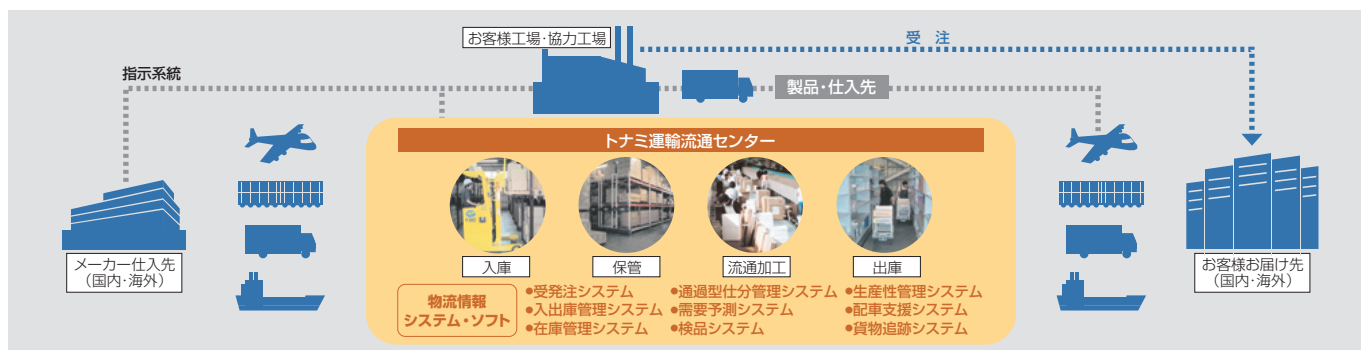
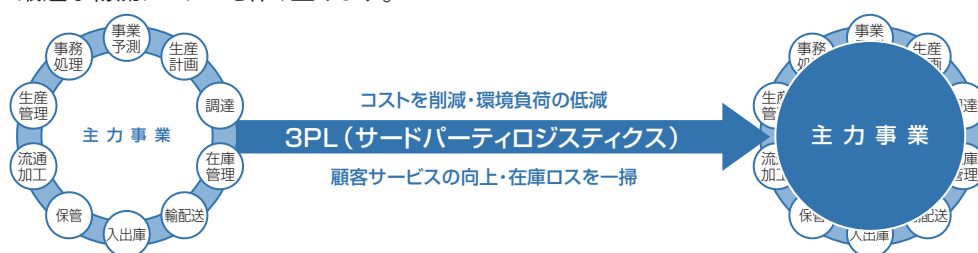
より良質な商品・サービスを提供するためには、お客様とのパートナーシップの構築が大切です。当社では、お客様と良好で健全な信頼関係を築き、お客様のニーズに応えられるように努めています。

物流と情報を一体化した3PL (サードパーティロジスティクス)

お客様の多くは、主力事業以外にもさまざまな物流業務を抱えています。すべての物流業務を当社におまかせいただくと、お客様は主力事業に専念でき、経営効率の向上にもつながります。

当社は、輸送・保管・流通加工・在庫管理・配送・情報処理を組み合わせる最適な物流を提案する『3PL (サードパーティロジスティクス)』を提供しています。

お客様に応じた柔軟なシステム構築で培ってきた豊富なノウハウをバックボーンにした優れたコンサルティング能力により、お客様の最適な物流システムを作り上げます。



TOPICS

新しい物流拠点の設置～ 南大阪支店・流通センター開設

関西地区の物流新拠点として南大阪支店・流通センターを開設、2007年2月13日より業務を開始しました。同施設は、当社の関西地区事業所において一番の敷地面積を有し、約3,000坪の倉庫を備える総合物流拠点としての機能を果たします。これを機に、より高品質なサービスを提供し、一層の物流サービスの向上に努め、お客様のさまざまなニーズに対応した最適な物流システムの構築に取り組んでいきます。



南大阪支店・流通センター

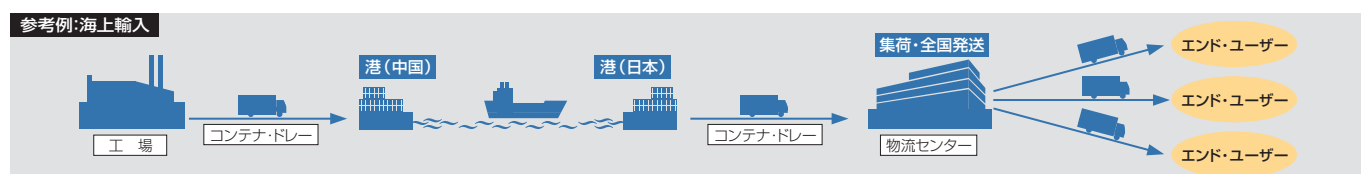
近くに大阪港を控え、国際物流拠点としても最良なロケーションを備えており、国際物流の拠点として最適です。

海外への事業展開

当社は、2005年6月「上海駐在事務所」を開設しました。これにより、国際物流を担う関係会社であるトナミ国際物流(株)、トナミ航空サービス(株)、京神倉庫(株)との連携を強化し、効率的に高品質な国際物流サービスをお客様に提供することを目指しています。

貨物追跡WEBシステム

お客様の特定のパスワードでログインすることにより、WEBシステムにて海上コンテナ輸入貨物の状況をお手元のパソコンで確認することができます。





家電リサイクル事業で表彰

2004年より富山県内の廃家電製品（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）の法定集積場として、一地域を担当しています。

2006年11月には、その運営内容（法令遵守、運用管理、作業内容）が優秀であるとして、取引先である家電メーカー様より「優良指定引取場所」に認定表彰されました。取引先と相互の信頼関係のもと、業務・運営を行っています。



優良認定引取所盾



廃家電製品の積合せ

コメント

キーマン※より、ひとこと

当指定引取場所は、2004年の業務開始よりキャンペーン3年連続受賞、実査については、2005年春・秋と2006年の春の3期連続100点を獲得し、今回の優良指定引取場所認定を受けたものです。

今後も、継続して優良指定引取場所の認定を受けられるよう元請・指定引取所ともに協力し努力していきたいと思っています。

※キーマンとは
指定引取場所の運営を管理し
指示・指導する管理者です。

トナミインターネットサービス CORALNET

人から人へ大切なモノを運ぶように、大切な情報もお届けしたい。CORALNETではインターネット接続サービスを通して、高度情報社会の実現に取り組んでいます。

インターネット接続サービス

お客様のご要望に応じてさまざまなインターネット接続メニューをご用意しています。

フレッツ光接続コース

光ファイバーによる超高速ブロードバンドでの快適なインターネット接続が実現できます。

C-DSL パーソナルコース

コーラル独自のADSL接続サービスです。現在お使いの電話回線（アナログ）を使用してお手軽に高速インターネット接続ができます。また、お電話しながら利用することもできます。

ホスティングサービス

コーラルネットのサーバを利用して、お客様の会社やお店のホームページを開設できます。

地元ケーブルテレビ様へのインターネットサービスサポート

☐ コーラルネットのホームページはこちらから

<http://www.coralnet.or.jp/>

TOPICS

情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証取得!!

インターネット事業部で運営しているインターネットプロバイダ業務である「CoralNet（コーラルネット）」は、情報セキュリティマネジメントの国際標準規格である「ISO/IEC27001:2005」「JISQ27001:2006」の認証を取得しました。今回の認証取得は、情報セキュリティにおいて厳格な管理体制を確立し、安全に運用していることを第三者認証機関より証明していただいたこととなります。

今後とも、セキュリティポリシーに従い、継続的に情報セキュリティレベルの維持、向上に努めることで、お客様に安心してご利用いただけるサービスを提供していきます。



適用範囲: インターネットプロバイダ業務



適用範囲: インターネットプロバイダ業務

携帯電話から、お荷物の状況確認

当社では、お持ちの携帯電話から検索できる「リアルタイム貨物追跡システム」のサービスを行っています。お客様が、いつでもお荷物の状況を検索でき安心していただけるようにしています。下記の順序にて、お気軽にご利用ください。

NTT Docomo

iMENU → メニュー/検索 → 暮らしの情報 → 荷物問い合わせ → トナミ運輸

au

EZトップメニュー → カテゴリで探す → 住宅・健康・暮らし → 荷物追跡 → トナミ運輸

SoftBank

YAHOO JAPAN → メニューリスト → 暮らし・健康 → 宅配・郵便 → トナミ運輸

リアルタイム 貨物追跡システム お問合せ番号を 入力して下さい。 送信 クリア ①ご案内 ②お知らせ	お問合せ番号を 入力して下さい。 1234567890 送信 クリア ①ご案内 ②お知らせ	貨物追跡情報 ▼お問合せ番号 1234-567890 ▼配達状況 03/25 ※配達済※ お問合せは担当 営業所までお願 い致します。 ▼発送店 富山支店 03/24 17:30 ▼配達店 大阪中央支店 配達完了 03/25 09:30 お問合せ先 06-6915-1073 戻る
--	---	--

貨物追跡画面



従業員とのコミュニケーション

和の経営理念のもと、従業員とのコミュニケーションを大切にしています。人事制度、教育制度、職場の安全を確保することはもちろん、従業員のこころとからだへの配慮も十分に行い、働きやすい職場づくりを奨励しています。

人事制度

従業員一人ひとりがやりがいを実感できるように仕事の実績を重視した明確な評価・処遇制度を導入し、自己の能力を伸ばし成長できる環境づくりに努めています。また、継続雇用制度の適用など高齢者に対する労働環境整備の取り組みも進めています。

優良従業員表彰受賞

「2006富山県高齢・障害者雇用フェスタ」において、砺波整備工場の安達節子事務員が富山県雇用開発協会優良従業員表彰を受賞しました。

大きな賞を戴いて、
本当にうれしいです。
ありがとうございました。



横浜市港南区体育協会から表彰

横浜営業所の佐藤正三運転手が横浜市港南区体育協会から表彰されました。いろいろな大会や行事の運営・審判をボランティアで務めてきたことが評価されたものです。

これからも、
続けられる限り
お手伝いをしていきたいと
改めて思いました。



コメント

私の職場

私の職場は、トナミ運輸健康保険組合です。従業員とご家族の健康の保持増進を目的として、国の認可を受けて設立された公法人です。健康保険の仕事は、昨今、国の施策により、抜本的改革が進められ、仕事の内容も日々変化しています。

私は、この仕事に携わって、今まで知らなかった事や気付かなかった事の多さに驚いています。皆さん

に分かりやすくお伝えするにはどうしたら良いかを常に職場で話し合うように心がけています。職員は全員女性なので、やさしさときめ細やかさを活かし、加入者の皆さんには安心感を与えられるよう努めています。そのために、職員全体の知識を高め、情報が共有できるような職場づくりが必要です。お互いが刺激となって、レベルアップできればと思います。

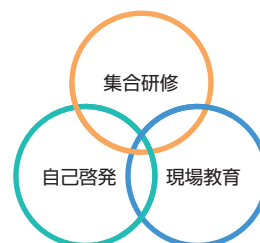


トナミ運輸健康保険組合
林 美智枝事務長

教育制度

当社では、従業員の能力開発と人材育成を図るため、「集合研修」「現場教育」「自己啓発」を柱として取り組んでいます。集合研修で学ぶ内容、現場教育で指導すべき内容、自ら学ぶべきものを組み合わせ、教育効果を高めています。

	集合研修			現場教育	自己啓発
事務職	新入社員教育	階層別教育 実務者教育	選抜教育	サービス 安全 環境	通信教育
ドライバー	新入社員教育	リーダー教育	チーフトレーナー セーフティ マネージャー研修		
あんぜん号適正診断					



TOPICS

現役支店長、衛生管理者資格試験に合格!!

事業所長研修を受けた際、6カ月後のフォロー研修までに実行することに「衛生管理者の資格取得」と書いたのが挑戦のきっかけでした。ミドリ安全の講習会を受講しましたが、範囲が広く、さらに苦手の理化学系の文字が一杯で自分には無理だろうと一度は諦めました。しかし、フォロー研修時に立派に結果を出

した人を見て、自分もこのまま終わりたいと思ひ直し、合格した人のアドバイスを受けて問題集を買い込んで休日は一生涯懸命勉強し、幸運にも一発合格できました。今後は、資格を日々の業務に役立て、また、年齢制限がない資格なので多くの方にチャレンジしてもらいたいと思います。

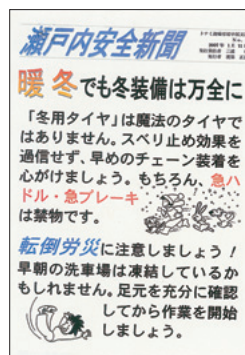


南大阪支店
味村 和雄支店長



安全な職場づくりを目指して

従業員が安全に安心して働ける労働環境を整備するため、事業所では「事故防止安全衛生推進委員会活動」に取り組んでいます。職場における従業員の安全を確保することは、従業員およびその家族の幸せ、またお客様へのサービス、品質の維持・向上の観点からも重要な取り組みです。労災事故防止の取り組みの一環として、『労災事故事例集』を全事業所に配布しました。グループミーティング時には事故事例研究、リスクアセスメント、KYT（危険予知訓練）を通して、自律的な事故防止活動を目指し取り組みを行っています。



労災事故防止ポスター

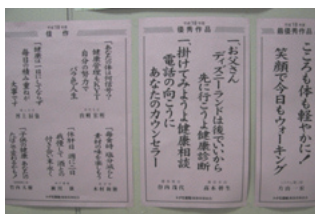


「こころ」と「からだ」の健康づくり

会社が常に健康体であり続けるために、従業員の健康は大切な要素です。当社では、健康の維持促進に努めるために年1回の定期健康診断実施はもとより、健康診断結果に基づき2次健診の勧奨、産業医や保健師による健康相談教室を実施し、従業員一人ひとりの健康管理を推進しています。

健康づくり標語コンテスト

健康保険組合では、従業員、その家族の皆様に健康への関心を高めてもらうことを目的に「健康づくり標語」を募集しています。入選作品は、各事業所に掲示しています。



健康づくり標語

コメント

最優秀賞受賞者

『こころも体も軽やかに!笑顔で今日もウォーキング』

私たちが人間の健康バロメーターは、自己都合に合わせ日々狂っています。狂った「量り」は誰でもなく自分で直すしかありません。そして、自分の意志で体を動かしていることを考えれば、「体以上にこころの健康が必要」という思いを込めて考えました。



システム第二部
片山 一宏課長

労働組合活動

労働組合では、さまざまな行事を通して従業員とのコミュニケーションを図っています。また、従業員同士の交流の場を設け、従業員間の働きやすい職場環境づくりを応援しています。

ライフデザインセミナーの開催

定年を間近にひかえた従業員を対象に、年一回、ライフデザインセミナーを開催しています。継続雇用制度とともに年金や医療制度、税金などの制度や手続きについて説明を行い、自分に適した生活を過ごせるよう応援しています。



殉職者が祀られている光臺寺参拝

LTC（リーダートレーニングセンター）の開催

将来のリーダーの育成を目的とした、LTC（リーダートレーニングセンター）を、毎年開催しています。2007年度は、4月11日から13日の3日間、全国の職場から22名が参加して行われました。「私たちの職場の問題」について意見交換したり、「労働組合の役割とリーダー」についてレクチャーを受けました。



LTC（リーダートレーニングセンター）

親子サマーキャンプの開催

労使共催親子サマーキャンプを、毎年開催しています。2006年度は、7月22日から24日の3日間、岐阜県中津川市の夕森ふれあいキャンプ場にて開催されました。31家族109名の親子が参加、ゲームやアトラクション、食事作りなどを楽しみながら大自然の中で親子のコミュニケーションを図り、有意義な時間を過ごしました。



親子サマーキャンプ



環境への責任

限られた地球環境の中で持続的に経済社会を発展させていくために、役員社員一人ひとりが、環境法規を遵守し、循環型社会形成のために資源の浪費につながる使い捨て社会を見直し、あらゆる場面において環境とのかかわりを認識し、環境負荷低減を心掛けています。（社員行動規範より）

環境方針

私たちは、安全で确实迅速な輸送サービスをお客様に提供し、
ご満足いただくことが第一の使命であると考えます。
同時に私たちを取り巻く環境問題についても、
私たちにふさわしい責任を果たすことを目指します。

環 境 方 針

地球環境を守る事は、あらゆる生命の生存に関わる最重要テーマであると認識し、「輸送を通じ社会に寄与し、地球環境の保全に努める」を基本理念として、以下の方針に基づいて取り組みます。

- 1.輸送サービスを提供することによって生じる環境汚染に対して、次の事を守ります。
 - ①環境に優しい車の導入を図ります。
 - ②エコドライブの実践に取り組みます。
 - ③物流の効率化を通じて、地球環境に優しい物流システムを構築します。
 - ④省資源、省エネルギーに取り組みます。
- 2.環境保全に関する国・地方自治体等の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3.環境目的及び環境目標を具体的に定め、定期的にレビューを実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を致します。
- 4.本方針は全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

2006年度取り組み実績と2007年度目標

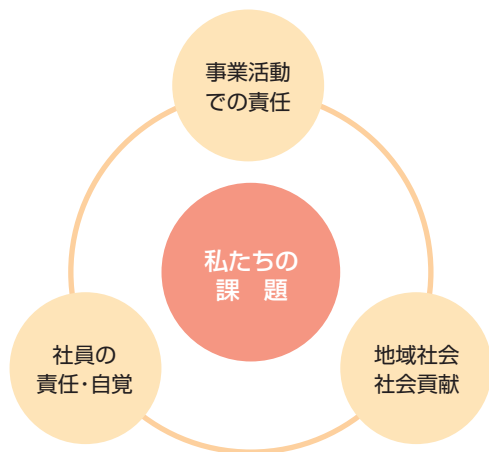
環境負荷低減を目指して、環境保全の取り組みの展開を図っています。

目 的 ・ 目 標	ペ ー ジ	2006年度目標
環 境 に や さ し い 車 の 導 入	P20	低公害車の導入 80台
エ コ ド ラ イ ブ の 実 践	P21	エコドライブ教育実施、デジタル式運行記録計の導入拡大 保持キロ/ℓ 前年比0.5%向上、省燃費運転実施 省エネ運転実施、異常運転発生率6%以下に抑える
“物流の効率化と地球環境にやさしい物流システムの構築”	P20	コンテナ輸送の拡大 前年実績以上の積載率の向上
リ サ イ ク ル シ ス テ ム の 構 築	P24	全事業所ストレッチフィルムのリサイクルルート使用
	P25	機密文書リサイクル（エコロックシステム）取扱量3,500t エコ商品の販売
“環境にやさしい商品の開発・提供および調達”	P24	とやま古紙再生サークル、べんりねっと（再生品事務用品）の活用
	P25	再生品使用の制服採用
省 資 源 ・ 省 電 力 へ の 取 り 組 み		再生トイレットペーパー販売数前年度比5%増加、省エネ商品の販売促進 電力使用量：全社で前年度比1%の削減 コピー用紙使用量の削減、前年比1%削減（目標値1,498千枚 本社のみ） 帳票の電子化（新財務会計システムの導入）
社 員 環 境 教 育		社員研修時、環境教育実施 社内報に環境関連の記事の掲載（年4回） グループ会社への環境活動の啓発



私たちの課題

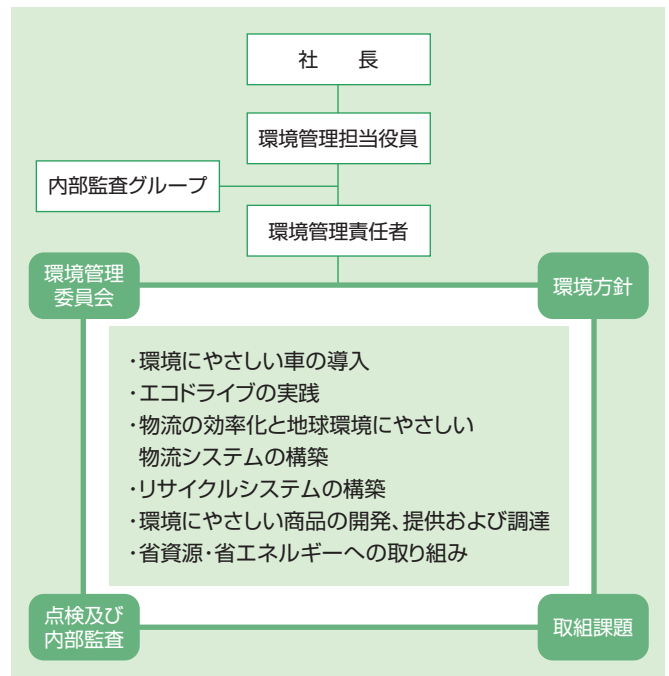
輸送サービスを提供する上で、私たちの課題は、エネルギーの効率化を図ることや環境に配慮した輸送サービスを提案することです。また、廃棄物の適正処理、リサイクルの推進、地域社会貢献活動などについても取り組んでいます。



1. 輸送サービス商品に対する環境面での責任
2. 輸送サービス全分野におけるロス削減
3. 廃棄物の処理とリサイクルの推進
4. 地域の清掃活動、社会活動
5. 社員教育活動

環境マネジメント推進体制 (ISO14001)

当社は、2003年10月、本社において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。環境マネジメントシステムを運用し、PDCAサイクルに沿って、継続的改善を図っています。



2006年度実績	評価	2007年度目標
低公害車 (CNG車34台、ハイブリッド車10台)を導入	×	低公害車の導入30台
公開指導の実施、デジタル式運行記録計779台を導入 (2003年10月～)	▲	乗務員新入社員研修時、エコドライブ教育の実施、デジタル式運行記録計の導入拡大
上期1.1%、下期2.4%向上	●	使用燃料の削減、燃費の向上 (前年実績以上)
エコドライブ運転、アイドリングストップ実施 異常チャート紙の発生率2.6%	●	異常運転発生率の削減 (異常チャート紙の発生5%以下)
前年度比11,743t増	●	コンテナ輸送の拡大 (前年実績以上)
前年度比0.4%向上	●	前年実績以上の積載率の向上
全事業所から3ヵ所へ回収し、リサイクルへ	●	リサイクルルート使用実施の徹底
関東地区、中京地区での取扱量拡大 年間3,727t	●	機密書類のリサイクル取扱量3,550t/年
コピー用紙、トイレトペーパー、段ボールのリサイクル品を購入	▲	グリーン購入の拡大
男子長袖ブルゾン、半袖ブルゾン、作業用ズボンエコマーク入りのものを使用	▲	制服購入・廃棄時の管理体制の構築
再生トイレトペーパー378,827ロール販売 (前年より647ロール増)、前年度比0.2%増	▲	省エネ商品の販売促進、環境にやさしい商品の企画立案
前年実績26,723千kWhに対し、3.5%削減の25,793千kWh	●	電力使用量:全社で前年度比1%の削減
目標値1,498千枚に対し、目標値より0.3%減の1,493千枚	●	コピー用紙使用量:前年度比1%の削減
子会社24社に新財務会計システムを導入	●	帳票の電子化へ推進
階層別教育に環境教育を取り入れる	▲	教育・研修時、環境に関する講義を取り入れる
年4回発行時に掲載	▲	社内報に環境関連の情報を取り上げる (年4回)
グループ会社に環境活動取組状況報告を実施	▲	環境対策調査の実施



地球温暖化防止・大気汚染防止のために

CO₂などを中心とする温室効果ガスの増加は、地球温暖化に大きく影響します。当社では、低公害車の導入や、輸送の効率化を図るなど、温室効果ガス削減のための取り組みを積極的に進めています。

3年間でCO₂排出量8.8%削減!!

当社では、エコドライブの実施や低公害車の導入を図るなど環境負荷低減活動を推進し、軽油から排出されるCO₂を2003年度比11.9%削減しました。

電力からの排出量につきましては、省電力などに取り組んできましたが、事業所の新設などにより、2003年度比24.1%増加しました。

その結果、2006年度のCO₂総排出量は、2003年度比約12,400t削減し、8.8%減の128,841t-CO₂となりました。

2003～2006年度CO₂総排出量の内訳

(単位:t-CO₂)

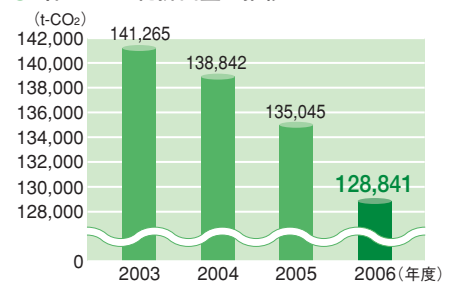
排出エネルギー	2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2003年度比
	排出量	排出率	排出量	排出率	排出量	排出率	排出量	排出率	
軽油	127,972	90.59%	124,181	89.44%	119,387	88.41%	112,764	87.52%	88.1%
ガソリン	1,129	0.80%	1,295	0.93%	1,480	1.10%	1,572	1.22%	139.2%
A重油	509	0.36%	896	0.65%	1,184	0.88%	273	0.21%	53.6%
LPG(車両用)	1,404	0.99%	1,262	0.91%	1,087	0.80%	1,094	0.85%	77.9%
CNG(天然ガス)	436	0.31%	558	0.40%	836	0.62%	1,227	0.95%	281.4%
LPG(湯沸)	541	0.38%	632	0.46%	574	0.43%	571	0.44%	105.5%
灯油	352	0.25%	335	0.24%	310	0.23%	295	0.23%	83.8%
都市ガス	89	0.06%	84	0.06%	86	0.06%	83	0.06%	93.3%
電力	8,833	6.26%	9,599	6.91%	10,101	7.48%	10,962	8.52%	124.1%
CO ₂ 総排出量	141,265	100.00%	138,842	100.00%	135,045	100.00%	128,841	100.00%	91.2%

注1:排出係数は、平成15年7月環境省地球環境局の事業者からの温室効果ガス排出量算定方式ガイドラインによる。

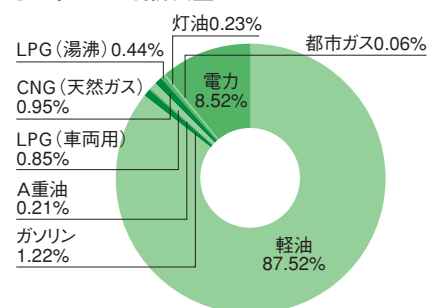
(LPGを単位kgからmlに換算する場合、LPGガス産率4.82ml/10kgを用いた。)

注2:電力の排出係数は0.425で算定。(電気事業連合会平成17年度実績)

当社のCO₂総排出量の推移



エネルギー別排出量



改正省エネルギー法への対応

エネルギー使用の合理化に関する法律の一部を改正する法律(改正省エネ法)が2006年4月1日に施行されました。省エネルギー対策や計画を策定し取り組みを推進しています。

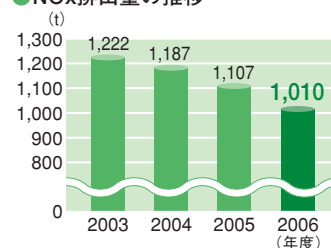
計画内容およびエネルギー使用合理化期待効果

対 策	計 画 内 容	エネルギー使用合理化期待効果
エコドライブの実践	2007～2011年度 全車両 燃費3%の向上	原単位2.9%向上(3,200t-CO ₂ 削減)
輸配送コースの見直し	2007～2011年度 空車キロの削減(運行車1運行5km、集配車10km/月)	原単位1.0%向上(1,100t-CO ₂ 削減)
輸送効率の改善	2007～2011年度 運行車 積載率1%向上	原単位0.7%向上(770t-CO ₂ 削減)
モーダルシフトの実施	2008年度 長距離運行系統(東京～広島)の鉄道コンテナ化 2便/日	原単位0.5%向上(550t-CO ₂ 削減)
低公害車の導入	2007～2011年度 CNG車(天然ガス自動車) 30台/年 ディーゼル車からの代替導入(計150台)	65t-CO ₂ 削減 NOx・PMの大幅削減

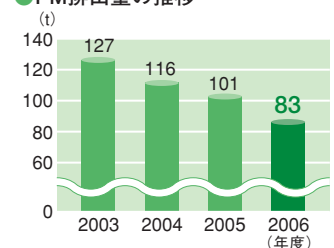
輸送にかかわるCO₂、NOx、PMの削減～低公害車の導入～

低公害車の導入、ディーゼル微粒子減少装置として酸化触媒取付などさまざまな取り組みによってNOx、PMなどの大気汚染物質削減に努めています。2006年度は全社で低公害車を44台導入しました。また、NOxの排出量削減には、低公害車導入のほかに、最新規制適合ディーゼル車の導入が効果的です。2006年度は最新規制適合ディーゼル車を316台導入しました。結果、NOxは前年度比97t、PMは18t削減しました。

NOx排出量の推移



PM排出量の推移





●低公害車保有実績の推移

排 出 量	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
全車両台数	4,228台	4,230台	4,221台	4,356台	4,286台	4,236台
CNG車台数	27台	59台	75台	85台	117台	151台
メタノール車台数	7台	2台	0台	0台	0台	0台
LPG車台数			11台	11台	11台	11台
ハイブリッド車台数				2台	2台	12台
導入率	0.80%	1.44%	2.04%	2.25%	3.03%	4.11%

※リフトは除きます

●最新規制適合車導入の推移

	2004年度	2005年度	2006年度	合 計
新長期規制対応車両	0台	40台	92台	132台
新短期規制対応車両	61台	143台	224台	428台
合 計	61台	183台	316台	560台

(2t車、4t車、10t車、15t車、トラクター)

CNG車(天然ガス自動車)の導入推進

CNG車(天然ガス自動車)は軽油を燃料とするディーゼルトラックに比べ、地球温暖化の原因となる二酸化炭素や窒素酸化物、黒煙の排出量も少なく環境にやさしい点が特徴です。また、改正省エネ法により、荷主の間でもCNG車(天然ガス自動車)による集配のニーズが高まると予想され、当社でも、導入に積極的に取り組んでいきます。



CNG車
(天然ガス自動車)

車両積載率向上の取り組み

2006年度、幹線輸送の車両積載率は、前年度より平均0.4%向上しました。日々の運営を見直しながら、積載率の向上に努めていきます。

「JITBOXチャーター便」の販売

「JITBOXチャーター便」は、同業他社と共同出資し、ボックスチャーター(株)を設立、商品化したものです。流通・仕掛在庫削減を目指すお客様に対して、中ロットの荷物をジャストインタイム(JIT)で納品する機能を提供します。また、従来低積載貸切で行っていたものが、ロールボックスパレット1本単位での貸切輸送により低コストを実現し、また、ボックスをお届け先まで一切開きませんので、破損、口割れなどの貨物事故防止につながります。さらに、出荷時の包装が不要になり梱包も簡素化できます。廃棄物削減による環境にもやさしい仕様です。

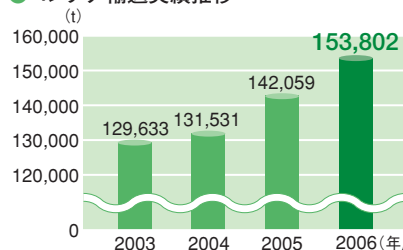
□JITBOXチャーター便のホームページはこちらから

<http://www.j-bcc.co.jp>

コンテナによる鉄道輸送への取り組み

コンテナ輸送は、トラック輸送に比べ距離・貨物量当たりのCO₂排出量が少なく、エネルギーの効率に優れています。当社は、トラック輸送からコンテナ輸送へのシフトを積極的に推進し、サービスの向上、業務の効率化とともに省エネルギーと環境負荷低減を図っています。

●コンテナ輸送実績推移



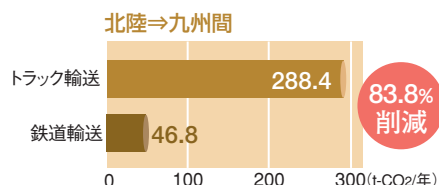
トナミコンテナ

活動事例

鉄道輸送へのモーダルシフト事例

当社は、国土交通省の幹線物流の環境負荷低減に向けたモーダルシフト実証実験に参加し、北陸～九州間(片道)を20フィートコンテナ使用の鉄道輸送にシフトしました。その結果、83.8%のCO₂排出量を削減出来ました。2004年3月より実施し、現在も継続しています。

●トラック輸送と鉄道輸送におけるCO₂排出量比較





環境と安全への取り組み

エコドライブの推進とともに、グリーン経営認証の取得やデジタル式運行記録計の導入を図るなど、環境保全と交通事故防止を最重要テーマの一つとして捉え、さまざまな取り組みを進めています。

エコドライブの推進

安全性の追求、環境にやさしい運転による環境保護、資源保護、コスト削減など、「安全」「環境」「経営」にさまざまな効果が期待される『エコドライブ』の推進を行っています。

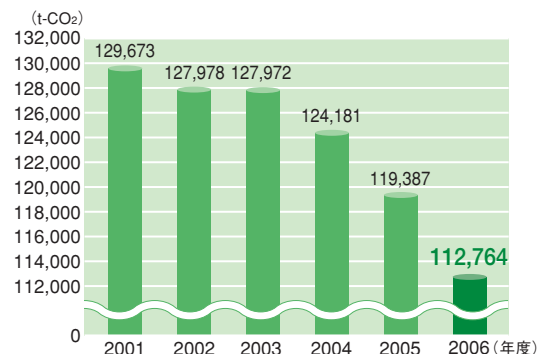
長距離輸送分野のエコドライブ実施

当社のCO₂排出量の約87%が軽油から排出され、そのうちの約70%が長距離輸送車両から排出されます。CO₂削減のためには、燃費向上を図ることが必要です。高速道路の走行において、スピードダウンすることにより、燃費削減を図っています。

車両1台ごとの保持キロ（燃費）の向上への取り組み

2006年度の車種別加重平均実績は、前年度比上期1.1%、下期2.4%向上しました。

●軽油からのCO₂排出量の推移



エコドライブ教育の実施

ドライバー研修や新入社員教育時に、自動車の適切な点検・整備の仕方、省エネ運転の注意事項について周知徹底を図っています。また、事業所でのエコドライブ活動として、ドライバー一人ひとりによる運転の見直しに組み込み、安全意識を高めています。



アイドリングストップ

駐車時はアイドリングストップ

アイドリングストップは、自動車の燃料消費量を抑えCO₂排出量を削減します。1997年よりアイドリングストップ運動を開始し、アイドリングストップワイヤー（キー抜きロープ）を全ての集配ドライバーに携帯させています。その事により車を離れる際も、必ずエンジンをストップするようにしています。

グリーン経営認証取得

グリーン経営認証制度は、交通エコロジー・モビリティ財団がグリーン経営推進マニュアルに基づいて一定のレベル以上の取り組みを行っている事業者に対して審査の上、認証・登録を行うものです。

環境保全活動の実効性を高めるため、事業者の環境改善の努力を客観的に証明することにより、取り組み意欲の向上を図り、環境負荷低減につなげます。当社では、富山支店・南大阪支店・東京航空支店・藤枝営業所の4事業所で認証を取得しています。



グリーン経営認証登録証

活動事例

営業乗務員のエコドライブへの取り組み

取り組み項目

- ① 交差点停止時の早めの減速
- ② 停止時の排気、フットブレーキの有効活用
- ③ 早めのシフトアップ（急発進、急加速をしない）
- ④ 月2回のエアークリーナーの清掃、空気圧の点検



新関東流通センター
寺田 春彦運転手

以上により、エコドライブに努めています。

TOPICS

環境保全事業活動表彰を受賞!! (滋賀運輸支局長表彰)

滋賀整備工場は、自動車整備業界における地球環境保全について積極的な取り組みを進めています。取り組みの内容は、フロンガスの取扱い・引取り・回収業者の役割、工場より排出される廃棄物（タイヤ・鉄くず（スクラップ）・段ボール）の分別およびリサイクルの実施などです。環境保全の重要性和必要性を意識し、継続的改善を図りながら取り組んでいます。

2007年2月20日、その取り組みが認められ滋賀運輸支局長賞を受賞しました。2年連続の受賞となり、2007年度は近畿運輸局長受賞を目指しています。



滋賀整備工場
上田 健一工場長



デジタル式運行記録計の活用

デジタル式運行記録計は、車載器にメモリーカードを差し込むだけの簡単な操作で運行記録が可能な上、時間・距離・速度の3要素を含むすべてのデータを数値で記録をとり、パソコンで解析・表示できます。これをもとに、運行管理者はドライバーに対してきめ細かい指導ができるようになりました。

一般ドライバーに理解していただくために、後続車両の運転席側から見える位置に『速度規制車』のシールを貼り付けました。

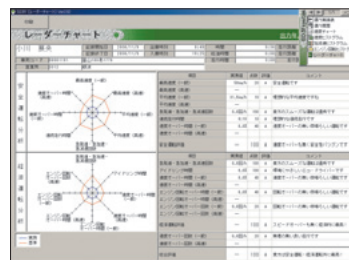
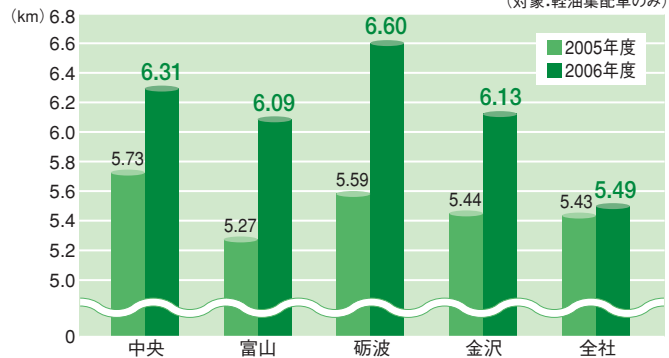


● デジタル式運行記録計導入状況 (2003年10月～2007年3月) (単位:台)

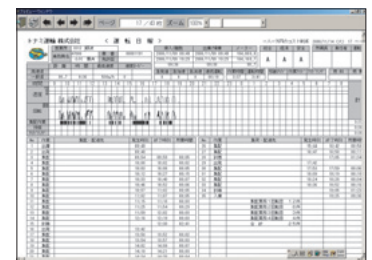
導入年月	事業所名	集配車	運行車	合計
2003年10月	黒部	26	6	32
2005年9月	中央	68		68
	富山	67		67
	砺波	19		19
	金沢	87		87
2006年9月	熊谷	34		34
	川崎	44		44
	名古屋	59		59
	泉佐野	40		40
	加古川	42		42
	砺波		20	20
	三協		20	20
2006年9月以降	小松	35		35
	能登	34		34
	北陸共配	17		17
	福井	66		66
	敦賀	19		19
	野田	39		39
	浦和		37	37
合計		696	83	779

● デジタル式運行記録計導入効果

※前年の1リッター当たり燃費で比較
(対象:軽油集配車のみ)



レーダーチャート



運転日報

コメント

デジタル式運行記録計導入事業所より

デジタル式運行記録計を集配車に装着後の取り組みとして、集配作業日報とデジタル運転日報とのセット提出を求めています。理由は、エコドライブ・安全管理だけでなく、労働時間管理、作業効率の検証には、両日報同時検証が必要だからです。ファイルも個人管理に変えました。導入時、全乗務員がA評価を受けたときは、大変嬉しかったです。これからも日報は毎朝目を通して、より一層3項目に改善を加えながら成果につなげていきたいと思っています。



富山支店
境 不二夫支店長

装着当時からデジタル式運行記録計に関しては、運転中あまり気に掛けずに仕事を進めています。全営業乗務員の運転状況が揭示されていますが、私から班員に指導することも余りなく、以前から取り組んでいるグリーン経営に準じた運転を行っていることが結果につながっていると思います。



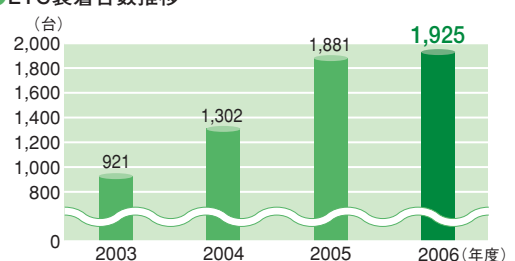
富山支店
荒井 直之リーダー

ETC車載器の導入

ETC車載器の導入は、料金所渋滞の解消だけでなくさまざまな効果をもたらします。例えば有料道路の入口や出口でストップ&ゴーを繰り返さないため、クルマの燃費を向上させます。また、料金所周辺の騒音や排気ガスの軽減にも役立ちます。

当社は、現在1,925台(2007年5月実績)の車両にETC車載器を導入しており、今後も増車していきます。

● ETC装着台数推移





廃棄物削減への取り組み

当社は、事業活動のあらゆる段階で省資源を考え、推進しています。資源ゴミのリサイクル化を推進することで廃棄物の削減に努めています。

ゴミ減量化推進の取り組み

廃棄物の減量化・リサイクルを念頭に置き、ゴミの分別処理を目的とした「ゴミ減量化推進マニュアル」を制定しています。職場環境や事業所近隣の環境対策を踏まえ、①発生抑制（ゴミ発生の少ない職場づくり）、②排出抑制（分別によるゴミの削減）、③資源化の推進（資源ゴミのリサイクル化）に取り組んでいます。

●2006年度廃棄物処理状況

	種 類	発生量 (kg)	再資源化量 (kg)	廃棄処分量 (kg)	再資源化率 (%)	前年再資源化率 (%)
燃 料	コ ピ ー 用 紙	180,324	62,220	118,300	34.5	36.0
	新 聞 紙	26,065	9,289	15,928	35.6	61.9
	チ ラ シ	19,372	5,166	14,201	26.7	26.2
	本 ・ 雑 誌	37,826	17,702	20,886	46.8	33.9
	段 ボ ー ル	759,326	540,714	230,512	71.2	78.2
	そ の 他 の 紙	584,708	34,358	548,441	5.9	4.3
	厨 房 ゴ ミ	177,658	4,117	162,709	2.3	2.0
	小 計	1,785,279	673,566	1,110,977	37.7	42.4
不 燃 物	鉄 ク ズ	246,937	61,967	180,705	25.1	22.3
	ガ ラ ス	63,177	25,694	36,824	40.7	31.1
	空 き 缶	262,558	213,478	48,744	81.3	83.0
	プ ラ ス チ ッ ク	231,430	93,349	137,270	40.3	25.8
	ストレッチフィルム	918,439	622,320	288,779	67.8	55.4
	小 計	1,722,541	1,016,808	692,322	59.0	50.9
	合 計	3,507,820	1,690,374	1,803,299	48.2	46.5

※算出数字については、精度が向上するよう更なる努力を続けます。

ゴミ分別モデル事業所の設置

取 り 組 み 方 法

- ①資源ゴミ回収ルートの再確認と確保
 - イ) ペットボトル
 - ロ) 紙類（書類・新聞・雑誌・チラシ・包装紙）
 - ハ) 段ボール
- ②金属類（スクラップ・空き缶）
 - ホ) ガラス類（ビン）…自販機業者回収分は除く
 - ヘ) 木材類…パレットは別に指定した場所に集積
- ②ゴミ分別保管スペースの整備
 - …資源ゴミ別の区分けを明確に整理する

職場環境保全の定着化、ゴミ分別・資源化による減量化のモデル事業所を8事業所（川崎支店・相模支店・浦和支店・福井支店・名岐支店・泉佐野支店・尼崎支店・加古川支店）に設置しています。さらに、全社展開を図るように取り組んでいます。



尼崎支店の分別BOX



適正な廃棄物処理への取り組み

廃棄物処理委託契約書とマニフェストの管理は、事業所から本社への調査報告体制を取り、会社全体で徹底した管理をしています。

廃棄物処理委託契約書と

マニフェスト管理状況の一斉調査の実施

排出者責任としてマニフェストの運用管理の徹底と優良な廃棄物処理業者の選定を行っています。毎年2回（1月・7月）、全事業所を対象に契約書の内容およびマニフェストの管理状況の一斉調査を実施しています。

ペーパーレス化の取り組み

新財務会計システム（system21）を導入し、財務会計業務の効率化だけでなく、会計伝票を廃止することで省資源化やコスト削減につながりました。2006年度は、子会社全社（24社）にも導入しました。

水質汚染・土壌汚染の防止対策

自社で所有する給油施設、厨房内の廃水の処理施設の定期清掃や法定点検を実施し、汚染防止に努めています。



リサイクルへの取り組み

日常業務で使用するコピー用紙、タイヤなどのリサイクルを推進しています。また、事務用品、制服は、環境への負荷が少ない商品の購入（グリーン購入）に積極的に取り組んでいます。

「とやま古紙再生サークル」活動

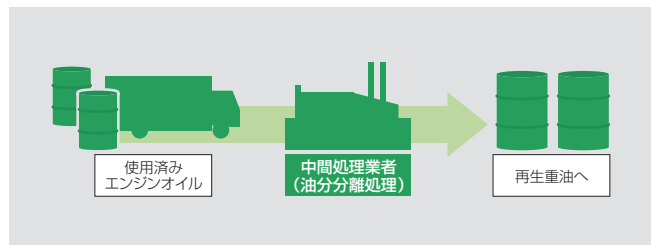
本社では、地域企業、自治体の皆様とともに、地域完結型の古紙リサイクル活動に取り組んでいます。トイレトペーパー、段ボール、コピー用紙は、サークル活動に加入する企業が排出した古紙を原料とした再生製品を使用しています。

●当社の古紙リサイクル実績推移

古紙		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
古紙回収実績 (kg)	上質紙	0	120	230	0
	新聞	1,840	2,150	3,200	2,860
	段ボール	9,760	13,250	16,760	13,600
	雑誌	14,100	10,560	11,900	7,160
	その他	470	50	770	0
	機密文書	2,580	1,620	3,120	2,055
合計		28,750	27,750	35,980	25,675
リサイクル品購入	トイレトペーパー (個)	171,600	180,792	176,256	161,328
	段ボール (個)	88,894	71,214	58,181	64,661
	コピー用紙 (kg)	6,987	5,890	6,829	6,954

車両エンジンオイルの廃油処理と再生

当社では、整備工場から発生する廃油はマニフェスト管理のもと、最終処分またはリサイクルしています。



廃棄ストレッチフィルムの資源化による

リサイクルルートの設定

梱包資材用ストレッチフィルムは、お客様の商品を輸送する際の荷崩れ防止など貨物事故防止には大変効果があります。しかし、一度使用されたストレッチフィルムは再利用ができません。当社では、廃棄物削減と資源の有効活用を推進するため、廃棄ストレッチフィルムのリサイクルルートを設定しました。全国に3カ所の集約事業所を設置して、圧縮処理後、リサイクル業者へ送り再生ポリ袋などの原料として使用されています。

グリーン購入の推進

男子ブルゾンの制服は、『社団法人 日本アパレル産業協会 ECOMATE マーク事務局認定・リサイクル配慮設計商品』を使用しています。また、半袖ブルゾンの制服はペットボトルや回収された繊維製品から再生したエコマーク制服です。

また、コピー用紙やファイルなど事務用品についても、再生品を使用しています。

洗車排水のリサイクル（みずぎの導入）

川崎支店、南大阪支店、加古川支店では、洗車後の排水中の泥・ゴミ・油分・ワックスなどを分離・除去し、清浄化してリサイクル水をつくるシステム（みずぎGHD型）を導入し、環境保全を視野に入れたクリーンな洗車廃水処理をしています。クローズドサイクルにより施設からの排水はゼロで、節水による水資源の保護にも役立っています。



みずぎ洗車風景

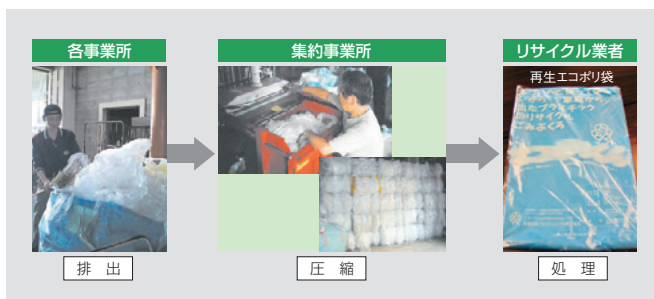
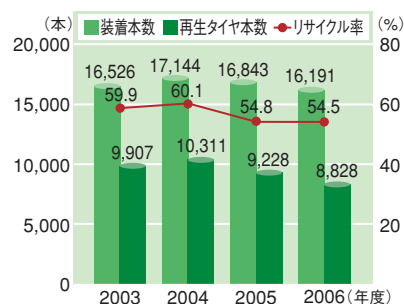


みずぎ

使用済みタイヤのリサイクル

当社では、使用済みタイヤはすべて再生タイヤメーカーが引き取っています。また、タイヤメーカーで再生したタイヤを使用しています。

●タイヤリサイクル実績の推移



男子ユニホーム



環境にやさしい事務用品



環境物流

限りある資源を大切に、廃棄物の発生をおさえ資源を循環的に利用する「循環型社会」を目指す取り組みは、現在企業の業種や規模の大小を問わず求められている課題です。当社は、この課題に物流で応え、循環型社会の形成に取り組んでいます。

最適リサイクルルートのご提案

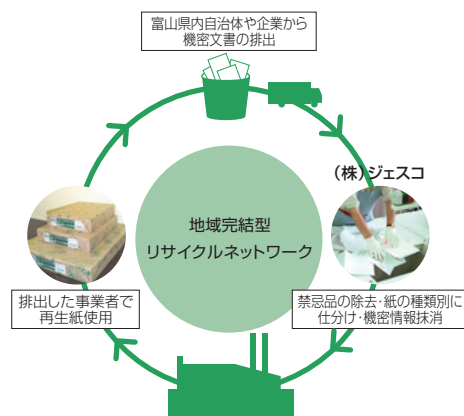
全国に展開するネットワークを活かし、環境ビジネスの広域的展開に取り組んでいます。お客様とカウンセリングを行いながら、お客様との話し合いの中から、お客様にとって最適リサイクルルートを構築していきます。

機密文書リサイクル「エコロックシステム」

「エコロックシステム」は、リサイクルとセキュリティを両立させた先進の“機密文書リサイクルシステム”です。廃棄機密文書を、指紋照合など万全のセキュリティ対策を施したリサイクルセンターに運び、機密情報の抹消処理を行います。その後、溶解リサイクル処理によって、コピー用紙、トイレットペーパーなど古紙100%の製品として再生させます。

当社では、関東地区、中京地区に事業拠点を設置し、また地域企業と共同出資し、北陸地区に「株式会社ジェスコ」を設立し、機密文書リサイクル事業に取り組んでいます。省庁や病院、金融、生損保など、あらゆる業種でご利用いただいています。

●例) (株)ジェスコ



エコポスト

●機密文書回収実績

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
古紙再資源化取扱い量 (t)	429	2,705	2,653	3,727
立木換算本数 (本)	8,591	54,100	53,060	74,540

※2006年度立木換算式 3,727t×20本=74,540本 (1t=20本)

●再生品取扱い実績

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
トイレットペーパー (個)	60,384	869,664	887,057	904,798
P P C 用紙 (t)	13.868	29.743	30.338	30.945
立木換算本数 (本)	464	3,955	4,033	4,114

※2006年度立木換算式
トイレットペーパー 904,798個÷5,000個×20本=3,619本 (5,000個=20本)
PPC用紙 30.945t×0.8t×20本=495本 (0.8t=20本)

巡回収集リサイクル方式の開発

当社の巡回収集リサイクル方式は、リサイクル資源が適正かつ効率的に収集できるシステムです。お客様のニーズにマッチしたルートの提案をしています。



巡回収集

容器包装リサイクル法への対応

廃プラスチックの再資源化を目的に、当社は経済産業省のエコタウン事業に共同参加しています。再生ポリ袋やベンチシートなどの原料となる廃プラスチック容器の再資源化を提案しています。また、各家庭や企業から市町村自治体へ排出される同容器の収集・運搬業務に取り組んでいます。

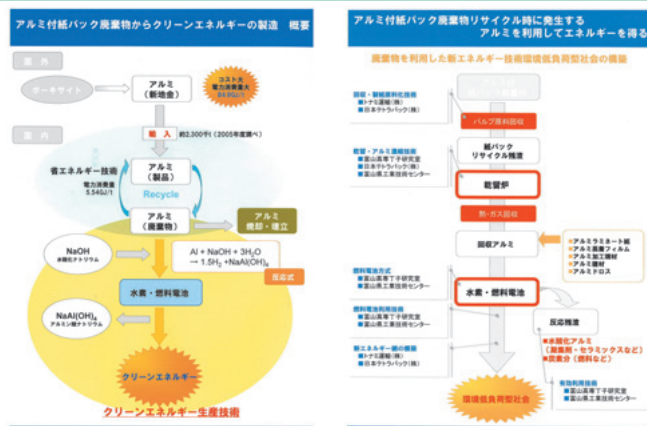


廃プラスチックのリサイクル品

TOPICS

特許出願、実用化へ!! 産学官連携での『包装材廃棄物からのエネルギー資源回収システム』

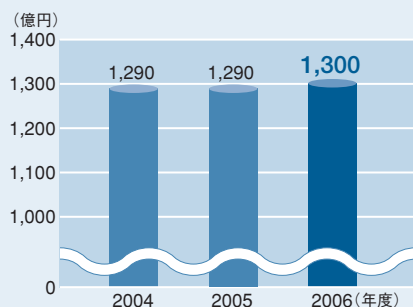
当社と富山工業高等専門学校、富山県工業技術センター生活工学研究所は、産学官の連携でジュースなどのアルミ付き紙パックの廃棄物をリサイクルして水素を製造し、電気エネルギーとして利用する資源回収システムを考案、特許出願をしました。電気自動車などへ活用する実証実験やシステムの総合的評価を進め、実用化を目指します。



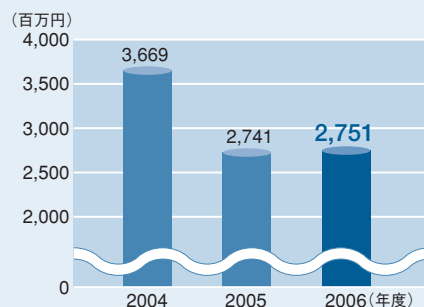
事業報告

事業報告 2006年度 (2006年4月～2007年3月)

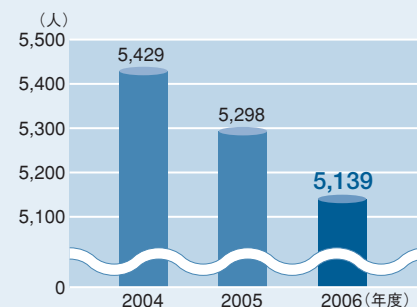
●連結売上高の推移



●連結経常利益の推移



●従業員数の推移



●連結事業別営業収益

事業別	金額(百万円)	構成比(%)	前年比(%)
物流関連事業	(118,009)	(90.8)	(100.7)
貨物自動車運送事業および貨物利用運送事業	88,587	68.2	99.9
倉庫業	22,415	17.2	92.7
港湾運送事業	7,007	5.4	162.1
その他事業	(12,009)	(9.2)	(100.5)
合計	130,019	100.0	100.7

(注)

1. その他事業欄には、物品販売業、自動車修理業、損害保険代理業ならびに委託売買業、総合リース業、旅行業、ダイレクトメール業、旅館業、その他事業の各収入を含めて表示しています。
2. 一部子会社において事業内容の変更があり、倉庫業に区分していた営業収益を当連結会計年度より、港湾運送事業に区分しています。その金額は2,437百万円です。
3. 貨物自動車運送事業および貨物利用運送事業に含まれていた情報処理事業は、独立した事業として当連結会計年度より、その他事業に含めて表示しています。その影響額は802百万円です。

情報開示

ホームページでの情報発信

当社では、お得意様、株主・投資家の皆様へ、決算や経営計画をはじめとする経営に関する重要な情報は、発表と同時にホームページに公開しています。また、3PL (サードパーティロジスティクス) をはじめとする当社が提供するサービスのご案内、お客様のお荷物照会など、ホームページより容易に検索できるようにしています。

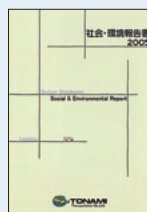
『社会・環境報告書』の発行

当社では2004年度より「社会・環境報告書」を毎年発行し、社会活動への取り組み、環境保全活動への取り組み状況などを社会に対して発信しています。

また、「社会・環境報告書2007」は左記で紹介したホームページよりご覧いただけます。



2004年度



2005年度



2006年度



2007年度

URL <http://www.tonami.co.jp/>

社 会 ・ 環 境 活 動 の 歩 み

1990年10月	・リサイクル委員会発足 ※使用済みPPC上質紙、色紙、チラシ、新聞紙、雑誌、ダンボール、封筒を分別回収・・・各部门より委員を任命、普及活動開始	
1991年7月	・とやま環境財団事業協賛	
1993年4月 5月 6月	・オリジナルトイレットペーパー作成、全事業所で使用開始 ・とやま古紙再生サークル入会（使用済みオフィス古紙の分別リサイクルの取り組み活動） ・引越用再生段ボールケース使用開始	 低公害車（メタノール車）4台導入
1994年3月 9月	・財団法人「トナミ松寿会」設立 ・社内のゴミの減量化、リサイクル利用を目的に「ゴミ減量化推進マニュアル」を制定、社内配布	 低公害車（メタノール車）3台導入
1995年6月	・「危機管理規程」制定	
1997年4月 12月	・アイドリングストップ運動開始、2001年までに累計3,900本のアイドリングストップワイヤー購入 ・会社で使用するPPC用紙、その他紙すべて再生紙に切り替える	 低公害車（CNG車）1台導入
1998年4月	・省資源設備導入・・・洗車排水循環再利用システムの導入（川崎支店）	 低公害車（CNG車）9台導入
1999年1月 4月 10月	・エコロックシステム（機密文書リサイクル）事業開始 ・「整理・整頓・清掃マニュアル」制定 ・リサイクルトイレットペーパーの宅配販売開始 ・「べんりねっと」開始	 低公害車（CNG車）2台導入
2000年6月 10月	・（機密・保存文書）リサイクル事業の新会社（株）ジェスコに参画 ・環境ビジネス（産業廃棄物収集運搬）事業開始	 低公害車（CNG車）1台導入
2001年4月 6月	・「ゴミ減量化推進マニュアル」を改訂。全社的にゴミの分別取り組み運動を展開。事業所内に委員会を組織化 ・ダイオキシン対策として全事業所の焼却炉使用禁止	 低公害車（CNG車）7台導入
2002年7月 9月	・プラスチックリサイクル事業への参入決定 ・「べんりねっと」による文房具グリーン調達化全事業所展開 ・「不当要求対応マニュアル」制定	 低公害車（CNG車）29台導入
2003年6月 10月 12月	・環境管理委員会（エネルギー、リサイクル、物流効率化の各委員会）発足 ・コンプライアンス室開設、コンプライアンス体制の強化 ・ISO14001認証取得 ・「コンプライアンス規程」制定 ・「社員行動規範」制定	 低公害車（CNG車）22台・（LPG車）11台導入
2004年2月 3月 6月 7月 10月	・洗車排水循環再利用システム導入（加古川支店） ・21世紀の新しい「まち美化システム」アダプト・プログラム取り組み ・グリーン経営認証取得（東京航空支店、富山支店、藤枝営業所、堺支店） ・「（株）静岡ドキュメントセキュリティ」を設立（機密文書リサイクル事業） ・会計伝票のペーパーレス化～新財務会計システム（system21）の導入	 低公害車（CNG車）14台導入 （ハイブリッド車）2台導入
2005年3月 6月 7月	・「社内通報規程」制定 ・環境事業部、環境対策室を開設 ・「個人情報保護コンプライアンスプログラム」策定 ・内部統制委員会設置	 低公害車（CNG車）32台導入
2006年4月 6月 11月	・「トナミ運輸グループ社内通報規程」改版 ・「トナミ運輸グループ経営リスクマネジメント管理規程」の制定 ・「トナミ運輸グループ緊急時対応規程」「トナミ運輸グループ大規模災害対応規程」の制定 ・飲酒運転に関する就業規則改正	 低公害車（CNG車）34台導入 （ハイブリッド車）10台導入
2007年2月 3月	・洗車排水循環再利用システム導入（南大阪支店） ・「ゴミ減量化推進マニュアル」改版 ・「産業廃棄物取扱マニュアル」改訂 ・「コーラルネット」ISMS認証取得	

トナミ運輸株式会社

〒933-8566 富山県高岡市昭和町3-2-12
 TEL (0766) 21-1073 FAX (0766) 21-3640
 URL <http://www.tonami.co.jp/>
 （本報告書はホームページでもご覧いただくことができます。）

